

令和3年度 学校評価アンケート集計結果について

1. 実施

(1) 対象者 教員(常勤者)、全校生徒及びその保護者

(2) 期間 生徒 11月30日(火)～12月6日(月)

保護者 12月7日(火)～12月13日(月)

教員 11月30日(火)～12月6日(月)

(3) 方法

・さくら連絡網のアンケート機能を用いて実施した。

さくら連絡網は設問数が20までという制約があるため、教員は2回に分けて送信した。

・集計は匿名で行った。

・各項目を次の段階で評価する。

A：よく当てはまる

B：どちらかと言えば当てはまる

C：どちらかと言えば当てはまらない

D：まったく当てはまらない

E：わからない(判断できない)

教員及び生徒はA・B・C・Dの4段階、保護者はA・B・C・Dの4段階の他、Eを加えての評価を実施した。

・改善に向けての提言という観点から、自由記述を求める設問も設けた。

(4) 回答数

・今年度 教職員 54 (100%)、生徒 524 (74%)、保護者 598 (84%)

・前年度 教職員 29 (57%)、生徒 447 (60%)、保護者 620 (83%)

※生徒の在籍数について、今年度は昨年度より1クラス減となっている。

※集約方法について、昨年度は、生徒・保護者がさくら連絡網、教員は claasi を利用した。今年度は、すべてさくら連絡網にて実施した。

※一部生徒用アンケートの自由記述に、保護者が回答したと思われるケースがあった。

2. 考察

次の2点について、評価の観点とする。

①肯定的評価(A+B)の割合

②前年度との比較のために、Aを100点、Bを70点、Cを40点、Dを10点と点数化して各項目の平均値を比較

(1) 教員対象アンケート

①の観点について、教職員は25項目中、20項目で80%を超え、うち12項目が90%を超える。全体的に教職員からは高い評価を受けていると言えるが、80%を切るものとして、「4校務分掌のバランス」「17体験学習・ボランティア」「20心身の健康管理・いのちの教育」「21施設設備」「22環境美化」の5項目がある。「21」については、昨年度最も低く4割に満たなかったが、今年度は60%を上回る結果となった。「4」「17」「20」については、昨年と比べダウンし、「22」については大きくダウンした。

②の観点について、前年比でプラスになった項目は10、マイナスになった項目は15である。特にプラスが目立つのは、「21施設設備」の+13.8、そして、「7教育課程の適正運用」の+7.5、

「25 家庭・地域との連携」の+5.2 である。逆にマイナスでは、「20 心身の健康管理・いのちの教育」の-4.4、「22 環境美化」の-4.3 などが目立つ。

「21」の学習環境に関する項目については、教室の冷房や電子黒板、ページセッター等の事務機器が設置されたことにより評価が上がったと推察される。校舎そのものの老朽化に対する改善等の要望はまだあるため、今後も課題としていきたい。「17」のボランティア活動については、コロナ禍により除雪ボランティア等の中止が影響していると思われる。また、「20」「22」については、健康観察等に重きが置かれたことによるものと推察される。

自由記述には、施設設備の要望、校務分掌への要望、課題の出し方などに関する記載があった。

(2) 生徒対象アンケート

①の観点について、「2 学校の雰囲気が良い」「5 学校行事は充実」「7 親身になって相談」の3項目でA+Bの割合が90%を超える。また、他の8項目が80%台であり、大部分の生徒は学校生活に満足している様子が窺える。しかし、「8 施設設備」「13 ブログ等の発信」の2項目については、50%台であり、継続的に取り組むべき課題である。

②の観点について、「8 施設設備」が+4.2と数値を上げた一方、全体的にダウンしている傾向があるのが気付きである。「13 ブログ等の発信」が-7.4、「1 入学して良かった」が-6.0、「5 学校行事は充実」が-5.5、「4 自主的・自律的活動」が-5.2とダウンしている。

「13」については、Web上に本校ホームページがあるものの、生徒達の関心はSNS中心となっているためと推察する。また、全体的にダウンしている傾向については、行事の縮小や中止など、2年間続くコロナ禍という特殊事情がかなり影響していると思われる。

自由記述には、授業への意見・要望、教師への意見・要望、学校施設への要望、部活動への意見・要望、受験体制への意見・要望などの記載があった。

(3) 保護者対象アンケート

①の観点について、「1 入学させて良かった」が95%を超え、保護者にとって満足度の高い学校であることが分かる。他に3項目（「2 教育方針の理解」「12 生徒会活動・部活動の充実」「17 保護者・地域からの信頼」）が90%を超えている。残り14項目のうち5項目が80%台、6項目が70%台であり、全体的には高い評価が得られている。数値の低い3項目については、60%台・50%台・40%台となるが、否定的評価C+Dが30%を超える項目はない。昨年度否定的評価が40%を超えた「14 施設・設備」についても改善傾向がみられる。

②の観点について、生徒同様、「14 施設設備」が+5.3と数値を上げた一方、全体的にややダウンしている傾向がある。

全体的にダウンしている傾向や、Eの分からないという回答が昨年度から増加している点については、コロナ禍という特殊事情がかなり影響していると思われる。今後、集合型の保護者会が実施できない場合、更なる工夫を行い保護者との連携を密にしていく必要がある。

自由記述には、学校施設への要望、部活動への意見・要望、授業や教師への意見・要望、進路関係の意見・要望、指導への感謝、コロナ対応への意見・要望、学校からの通信への要望、学習活動への提言などの記載があった。